



今号では、2つの研修会について紹介します。内容をまとめましたので、ぜひご参考ください。

地域連携担当教職員等研修会

R7.6.26 75名 オンライン

《実践発表》

令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る

文部科学大臣表彰受賞

常葉幼稚園・小中学校運営協議会 会長 増田英子 氏

○ 熟議

熟議というツールを使いながら、教師と保護者と地域の思いを共有する。現在、熟議が保護者に浸透し、学級懇談会でも活発に行われるようになってきている。

○ 幼稚園・小中学校の地域学校協働活動

地域の方が積極的にボランティアとして参加するだけでなく、生徒たちによる地域への支援を行っている。学校も地域も『WIN-WINの関係』である。

○ 現在の学校と地域、保護者の関係

『学校は楽しい場所』である。熟議を通して、地域の人、学校、保護者が気持ちをひとつにして活動している。



《講演》

「基礎から理解する『学校を核とした地域づくり』」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人 氏

○ 地域づくり

「学校を核とした地域づくり」も「地域とともにある学校」も、最終着地点は『地域づくり』にある。学校の教育活動を支援したり、子どもの健全育成を図ったりしながら、地域の大人同士のつながりをつくる。

○ 良い学校は良い地域にある

地域が落ち着いて人のつながりがしっかりしていると、子どもも落ち着いてくる。地域の良質な大人と子どもたちが会うことで教育効果を高めることができる。つまり、『良い学校は良い地域にある』

○ 新しいことをはじめるのではない。新しい気持ちではじめることである

特別活動と地域づくりは深い関係にある。小学校の特別活動では「多様な他者と協働する、人間関係合意形成、自主的実践的な人間関係の形成」といわれている。これらは、まちづくりを説明する言葉ともいえる。生徒会活動、部活動、あいさつ運動、文化祭、修学旅行など、今、学校で行っていることすべてが、地域づくりの基礎となる。『新しいことをはじめるのではない。新しい気持ちではじめることが大切である』

○ 野望と妄想と欲望

地域連携教職員は何をすればよいのか、地域コーディネーターは何をすればよいのかという質問がよくある。何をすべきかというよりは、何をしたいかが大事である。地域づくりは、何をしたいかという『野望と妄想と欲望』が必要である。

○ 子どもの笑顔が見たい

『子どもの笑顔が見たい』子どもの笑顔は、黄金の価値がある。大人を元気にしてくれる。子どもに関わることを通じて、大人の健全育成を図ることができる。



《講義・演習》

「自然と遊ぼう ～室内でできる身近材を使った工作活動～」

森の案内人 佐川 芙子 氏

○ 講義

- ・身近な植物（葉や木の実等）の特性とそれらを活用した遊び方の紹介
- ・エプロンシアターによる昆虫の説明
- ・子どもとの自然活動に役立つ植物・昆虫図鑑の紹介
- ・小刀の安全な使い方（木の枝の削り方）

○ 演習

- ・小枝クラフト（小枝を材料としたキーホルダー、マグネット等の製作）



《講 話》

「子どもの“よさ”を育むかわり方 ～ペアレントトレーニングの手法を学ぶ～」

福島県立医科大学看護学部家族看護学部門講師 佐藤 利憲 氏

○ ペアレントトレーニングの特性

- ・ペアレントトレーニングの柱は「ほめる」である。
- ・子どもの「心」にではなく、「行動」に焦点をあてることが大きなポイントとなる。
- ・子どもの気持ちに「プラスの変化（うれしい、楽しい）」が生じるよう、「ほめる」ことである。
- ・ペアレントトレーニングでいう「ほめる」とは、子どもに対し、「注目する」「肯定する」「相手をする」「関心を持つ」である。

○ ペアレントトレーニングの実際

- ・子どもが「よくない行動」、「なくしたい（やってほしくない）行動」をした場合は、相手をせずに、よい行動ができるまで待って、できたらほめること。
- ・大人が集団の子どもと関わる場合、「よくない行動」をする子に声をかけるのではなく、「よい行動」をしている子と向き合うようにする。
- ・学校等、教育支援の場においても、よい行動をしている子どもたちに対して「無視しない」「放置しない」ことが大切である。



○ ほめるタイミング

- ・子どもの努力をしている行動（普段は勝手に立ち歩きしているのに座っている等）を見かけたら、他の支援者と協力しながら、意識的・効果的にほめるようにする。
- ・その子にとって当たり前でできることをほめてもプラスの変化が生まれない。「ほめるべきターゲット行動」を決めてほめるようにする。
- ・ほめる時は簡潔な言葉で言う（まわりくどくしない）。

○ ほめる時の言葉で気をつけること

- ・「やればできるね」、「今回はできたね」、「さすがお兄ちゃんだね」という言葉は、「よい行動」をほめたことになっていない。
- ・「ありがとう。でも、〇〇だともっとよいね」などの、ほめたあとに修正することはできるだけ避ける。



各研修会の趣旨をご理解いただき、多くの出席者の中で開催することができました。今後も充実した内容の研修会になるよう努めてまいりますので、どうぞご参加ください。

8月30日（土）13:00より、ビブリオバトル県中地区予選会を郡山市立中央公民館で開催いたします。県中地区の中高生が熱いバトルを繰り広げます。ぜひ、ご観戦においでください。観戦者の投票でチャンプ本が決定します。